

令和元年度

近畿「子どもの水辺」交流会

in 京都

開催結果報告

近畿2府3県から、水辺活動をしている10団体の子どもたちが京都に集まりました。

普段それぞれの団体が実践している活動を発表して

互いの活動を知り、交流を通して学び、

これからの水辺をよりよくするために

できることを考えました。



©京都市まゆまる19015



近畿「子どもの水辺」交流会 in 京都



近畿「子どもの水辺」交流会は、子どもたちに身近な水辺活動を広く発信していただくもので、上下流・府県間を越えて「水辺」に関わる近畿の皆さんの交流を深め、地域ぐるみの水辺活動の継続・広がりを共につくり、水辺を守り育てることを目指しています。

主催・事務局／近畿「子どもの水辺」・京都

共 催／近畿「子どもの水辺」交流協議会

(近畿府県の水辺活動団体等、近畿地方整備局、

近畿各府県等、河川財団、近畿建設協会)



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

概要

日時 2020年1月25日(土)10:30～15:00

場所 八幡市文化センター（京都府八幡市高畑5番地3）



【第1部】開会式	オープニング、参加団体の紹介 近畿の水辺情報紹介（各府県行政担当者）
【第2部】グループ別発表会	近畿府県の小中学生による活動発表 意見交換（身近な水辺活動について）
内容 休憩	他団体のポスター見学、生きもの展示 引率者交流サロン
【第3部】グループ別交流会	意見交換（これから私たちができること）
【第4部】全体交流会・閉会式	「最初の一步宣言」



第1部 開会式

開会式

近畿「子どもの水辺」・京都 代表の大学院生、北野大輔さんからの元気な挨拶で始まりました。
 近畿「子どもの水辺」交流会は、水辺で活動する子どもの団体が互いにどんな活動をしているのか知り、学びを分かち合っ
 て深めるために、10年に渡り毎年開催してきました。2年間お休みしましたが、今年はふたたび多くの皆さんの協力のお陰で開催することができて嬉しいです。
 グループ別交流会では、2つのグループに分かれ、それぞれの水辺活動を発表します。他の活動団体の人たちがどんな活動をしているか、話をよく聞いてください。AとBの自分とは違うグループのことも、ポスターを見たり話をしたりして、ぜひたくさん交流してください。



開会宣言：北野大輔



開会挨拶：白波瀬正幸



開会式



司会：鈴木康久

参加団体活動の紹介(全10団体)

- 京都府・・・京都市立安朱小学校、木津川川ガキ団
- 大阪府・・・高槻市立第六中学校・自然観察同好会、川とあそぼう♪大和川クラブ
- 滋賀県・・・NPO 法人蒲生野考現倶楽部、TANAKAMI こども環境クラブ
- 兵庫県・・・玉ーアクアリウム、自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ
- 奈良県・・・奈良女子大学附属小学校6年月組、奈良市立平城小学校

近畿の水辺情報を紹介

京都府	大阪府	滋賀県	兵庫県	奈良県
鴨川探検 生き物の観察・水質調査 水辺の自然観察会	大阪ふれあいの水辺整備 槇尾川魚道づくり整備 大阪府立狭山池博物館	いい川・いい川づくり ワークショップin滋賀・ 京都 淡海の川づくりフォーラム	五つの国が一つの県に なった兵庫 貴重な生態系 水辺保全	川の学校 (河川環境学習) リバーウォッチング

本日の取り組み(アジェンダ)

- 第1部では、参加団体の紹介と近畿の水辺情報の紹介をする
- 第2部では、参加団体が、AとBのグループに分かれ、活動の発表をする
- 第3部では、「これから私たちができること」を考えてグループごとにまとめる
- 第4部では、もう一度全員が集まってグループで話し合ったことの報告をする
- 最後に、それぞれ「最初の一步宣言」を書いて発表する

という本日の流れを北野大輔さんから説明してもらい、第2部の会場に向けて移動しました。

第2部 グループ別発表会 / 第3部 グループ別交流会



大学院生の小林慧人さんのファシリテーションで、5つのグループが水辺での活動内容を報告しました。短い発表時間を有効に使うために、原稿やボードなどを準備。工夫を凝らしての、子どもたちからの発表でした。

担当スタッフ：小林慧人、澤井健二、辰谷直子、橋本夏次、福本吉雄、竜王真紀

グループ

A

自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ 兵庫県(8人)



猪名川の自然は友達です。

粟川でのヒメボタルの調査や川掃除など、川辺で様々な活動をしています。網れた魚はみんなで食べることができて楽しい!

TANAKAMIこども環境クラブ 滋賀県(8人)



未来にきれいな自然を残すために動きたい。

琵琶湖でのカヌー体験、ニゴロブナ漁体験などを行っています。ブラックバスやアライグマの事を考えると、いろいろな気持ちになります。

奈良市立平城小学校 奈良県(12人)



想いをつなぐ川

秋篠川について調べました。川には水運や祭事など文化を作る、住みかとして魚を育てるなどさまざまな役割がありました。

川と遊ぼう♪大和川クラブ 大阪府(2人)



「水辺の楽校エリア」での「かんさつ・遊ぼう会」で、アメンボやクサガメなどを見つけました。



漁師の方から教えてもらえる大阪湾クルーズ&学習会などを開催しました。自分のゴミは自分で持って帰ります。

京都市立安朱小学校 京都府(4人)



色々な生きものが気持ちよく住めるように、きれいな川を守りたい。

サワガニのオスとメスを見分ける方法を知っていますか? 川のきれいを守る「クリーンキャンペーン」でゴミ拾いをしています。

グループ

B

教育支援NPO大脳巧己さんのファシリテーションで、5つのグループが活動内容を報告しました。活動の実演や替え歌など、それぞれオリジナリティあふれる熱気に満ちた発表で、小さな会議室は暑くなるほど。質問もたくさん飛びかかっていました。

担当スタッフ：市川勝己、大脳巧己、田中美知世、谷幸三、中野清、野田晃弘、水野知代



京都木津川川ガキ団 京都府(10人)



木津川は、川ガキたちの遊び場や!

将来子どもができれば、たくさんのことを教えてあげて、一緒に遊べる川を守りたいと思います。

玉一アクアリウム 兵庫県(4人)



未来に流れる明石川を、後輩たちにつなげていきたいです。

明石川で外来種の魚を獲って肥料にしたり食べたりして、生きもの全体のつながりを実感。「ふるさと」の替え歌で、川の歌を作りました。

奈良女子大学付属小学校6年月組 奈良県(7人)



たくさんの生きものや鳥が来てくれるといいなあ!

ビオトープの底にコンクリートを貼ったら水がアルカリ性になったが、何回も水を替えたら中性に。生きものが住めるようになってきました。

NPO法人 蒲生野考現倶楽部 滋賀県(4人)



源流ではこんなに小さい流れが、日野川全ての生命を支えていると知り、感動しました。



源流、上流、中流、下流と日野川を巡り、川の累稱らしさを後世に伝えるため、きれいな川を保持するための環境調査をしています。

高槻市立第六中学校・自然観察同好会 大阪府(3人)



水を汚さないようにしなければならないと強く思いました。

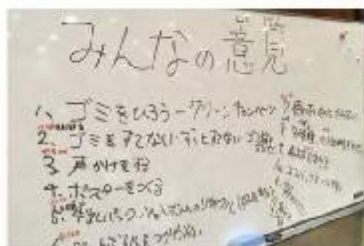
大阪の水は美味しいのか?ということを調べるため、硬度、残留塩素の検査と、大阪市、高槻市の水道水、蟹宮の水の水の飲み比べをした。

第4部 全体交流会／閉会式

全体交流会

第4部では、全員で同じ部屋に集まり、AとBのグループそれぞれのまとめを発表しました。小学生、中学生のみんなも、周りの仲間となずきながら、色々な意見に熱心に耳をかたむけて聞いていました。

10年後の水辺に対して私たちができること



グループ A 12の提案

- 1) ゴミをひろう・クリーンキャンペーン
- 2) ゴミをすてない。ずっとすてない
ゴミ箱をおいとく
- 3) 声をかける
- 4) ポスターをつくる
- 5) 牛乳パック、ペットボトルのリサイクル、3Rをする
- 6) ペットボトルをつかわない
- 7) 使わないものは買わない
- 8) 外来種と買った生きものをすてない
- 9) 森林をまもる
- 10) エコバッグで買いのをする
- 11) アクリルタワシで水をよごさない
- 12) 文化をつくる



グループ B 共通の願い

- 1、意識を高め
- 2、知識を持つ
- 3、行動につなげる
- 4、みんなに伝える
- 5、安全な川をつくる



最初の一步宣言

最後に、今日の交流会を通してひとりひとりが考えた10年後の水辺に対して私たちができることの「最初の一步宣言」を書き、マイクでAとBのグループから交互に発表していきました。「外来は持ち込まないでこの川に」という俳句の宣言も飛び出しました。一日進行役をしてくれた代表の北野大輔さんから、「今日紙に書いてくれたことをしっかりと意識をして1年間過ごせば、大きく周りは変わります。がんばって実践してってください」と応援の言葉をもらいました。

閉会式

閉会式では、近畿「子どもの水辺」交流協議会会長の山村武正さんから、「今日は若いみなさんから観察すること、記録すること、現場に実際行って行動することの大切さを学びました。素晴らしい活動を続けて、たくさんの仲間を信じていきましょう」、副代表の中辻英克さんから、「これからも続けて行くことを目指し、川に対する思いをひとりでも多くの人に発信していきましょう」とエールを受けて幕を閉じました。



交流協議会会長：山村武正



副代表：中辻英克



全体のようす／展示など

全体のようす



引率者交流サロン



生きもの展示

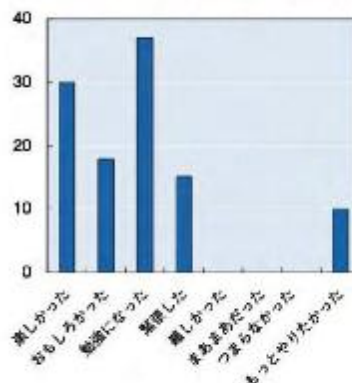


参加者の感想・次回について

参加者の感想（子ども）一部

知らない県の川や池のことがわかって勉強になりました	ひとりひとり、みんなが意見を言えて良かった	エコは大切 一人一人がすればいいと思います
他府県の団体と交流できるのはいいと思う	とても緊張したけど、出てよかったです	在来種にも、肉食がいることがわかった
滋賀県以外の川の水のいきものや、きれいさがわかった	みんなの意見がすぐわかりやすかった	交流会なので、遊びをするのはどうでしょうか
大きいこえていって、ポスターもわかりやすかった	もっと生きものの勉強をしたい	色々な人と友達になりたいです
一人一人が笑顔でやっていたことが良かった	みんながつながれるような交流会を続けていきたいです	来年も行きたい
在来種を増やして外来種を減らしたらいって伝えたい	発表するとき楽しかった	在来種を守ろう
私よりも年下の子の方が、川や魚や環境について知っていて、もっと部活をがんばりたいと思った	わからなかった淀川のことを知れて良かった	外来種を食べよう
外来種を減らすだけが大切でなく、同じ考えを持つ人との交流も必要だと思う	みんなが安祥寺川について知ってくれたこと	またあおうね
	水をどうやってきれいにしているのかが知れて良かった	他の地域ではどんな調査や活動をしているのかや、どんな環境なのかが知れて良かった

交流会の感想（回答者数：44人）



参加者の感想（おとな）一部

子ども達が出してくれた一つ一つの意見を、全て受け入れてもらえてよかった	子どもたちが、とてもよく勉強していたことが、よくわかりました
子どもの意見を尊重していて、すごいと思った	水筒に恵まれた水辺の子どもたちにも同じような問題意識があったのが印象的でした
子どもたちが自主的に意見を出し、自分の言葉で受け答えしている姿に感動すら覚えました	子どもの行動が大人を動かす、ということを実感できました
身近な自然を大切にすることで地球が守られる！川や池の大切さを改めて感じました	進学しても子どもができて、同じように水辺を守るという意識を持ち続けてほしい。

次回 近畿「子どもの水辺」交流会のご案内（予告）

次回の開催地は...

奈良県

日時：2021年1月23日（土）

場所：リーベル王寺（予定）

近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良（現在企画検討中！）

詳細が決まったら
ホームページをみてね！



お問合せ先

近畿「子どもの水辺」・京都事務局

FAX：0774-64-4183 E-mail：fddb257@ybb.ne.jp

住所：〒610-0331 京都府京田辺市田辺深田15（NPO法人やましろ里山の会内）